

テクニカルセッション 10月4日(水) 対面およびオンライン

時間	内容		
	<p align="center">プレナリーセッション</p> <p align="center">テーマ :テクニカルセッションを構成するハイレベルな話題提供</p> <p align="center">モデレータ: Dr. William Tumas (NREL, 米国)</p>		
8:50-9:00	<p align="center">導入: RD20 目標、レコメンデーション、進捗、今後の計画</p> <p align="center">小原 春彦 (産総研, 日本)</p>		
9:00-9:25	<p align="center">水素に関する世界的視点</p> <p align="center">課題と機会、エネルギー部門の脱炭素化に向けた水素技術の適用</p> <p align="center">Prof. Dr. Christopher Hebling (Fraunhofer ISE, ドイツ)</p>		
9:25-9:50	<p align="center">大規模太陽光発電システムの展開、課題、機会(テラワットワークショップの概要とコンセプト)、</p> <p align="center">太陽光発電の循環形成</p> <p align="center">Dr. Silvana Ovaitt (NREL, 米国)</p>		
9:50-10:15	<p align="center">CCUS の課題/機会/展望および価値提案を含む統合コンセプトの好機</p> <p align="center">Dr. Dietmar Tourbier (CSIRO, オーストラリア)</p>		
10:15-10:45	<p align="center">パネルディスカッション</p>		
10:45-11:00	<p align="center">コーヒーブレイク</p>		
11:00-11:15	<p align="center">太陽光発電タスクグループからの活動報告</p> <p align="center">Dr. Harald Muellejans (JRC, EU)</p>		
11:15-11:30	<p align="center">タスクフォース報告(タスクフォースの重要性向上-タスクフォースリーダーによる</p> <p align="center">ショート・プレゼンテーション)水素の LCA</p> <p align="center">Dr. Amgad Elgowainy (ANL (Argonne National Laboratory), 米国)</p>		
11:30-12:00	<p align="center">RD20 連携の現状と将来に関するパネルディスカッション</p> <p align="center">アドバイザーボード委員</p>		
12:00-13:30	<p align="center">昼食</p>		
	<p align="center">テクニカルセッション 1:</p> <p align="center">エネルギー部門の脱炭素化とエネルギー変換に向けた水素技術の適用と影響</p> <p align="center">モデレータ</p> <p align="center">Dr. Florence Lefebvre-Joud (CEA-Liten, フランス)</p>	<p align="center">テクニカルセッション 2:</p> <p align="center">太陽光発電の大規模装置の環境影響評価</p> <p align="center">モデレータ</p> <p align="center">Dr. Christian Thiel (JRC, EU)</p>	<p align="center">テクニカルセッション 3:</p> <p align="center">CO2 有効利用-CCU の共有価値と統合テーマを中心に</p> <p align="center">モデレータ</p> <p align="center">Dr. Dietmar Tourbier (CSIRO, オーストラリア)</p>
13:30-13:55	<p align="center">概論 -部門別脱炭素化</p> <p align="center">Dr. Florence Lefebvre-Joud (CEA-Liten, フランス)</p>	<p align="center">概論</p> <p align="center">近藤 道雄 (早稲田大学, 産総研, 日本)</p>	<p align="center">CO2 回収と変換の統合のための機会と課題</p> <p align="center">Dr. Joshua Schaidle (NREL, 米国)</p>

13:55-14:20	ギガトン水素ワークショップからの報告 Dr. Bryan Pivovar (NREL, 米国)	大規模太陽光発電展開の環境アセスメント Prof. Myriam Merad (CNRS-Paris Dauphine, フランス)	CO2 有効利用(CCU)のための均等化 CO2 削減コスト(LCCA)のボトムアップ型フレームワーク-R&Dと政策ギャップのケーススタディと適用 Dr. Farid Bensebaa (NRC, カナダ)
14:20-14:45	固体酸化物形可逆燃料電池: 電力と水素の双方を生成するフレキシブルデバイス (※NEDO 事業) 佐々木 一成 (九州大学, 日本)	太陽光発電パネルの化学物質リスク評価 小野 恭子 (産総研, 日本)	二酸化炭素の熱化学分離とその CCU 適用のための高温太陽熱利用 (※NEDO 事業) 松原 幸治 (新潟大学, 日本)
14:45-15:10	韓国におけるグリーンアンモニア生産と有効利用の研究の現状 Dr. Hyung Chul Yoon (KIER, 韓国)	太陽光発電大量導入に起因する環境アセスメント Dr. Leandro Michels (UFMS, ブラジル)	低炭素かつ持続的な水素へのバイオ由来 CCU に関する CSIR 研究の概要 Mr. Zama Duma (CSIR, 南アフリカ)
15:10-15:35	エネルギー転換を加速する ENEA のマルチセクター統合スマートシステム、マイクログリッドと hydrogen valley Dr. Giorgio Graditi (ENEA, イタリア)	インドにおける太陽光発電の目標と影響、大規模太陽光発電導入の様相 Dr. Anil Kottantharayil (IITB, インド)	水素貯蔵と合成燃料における CCU Dr. Florian Nestler (Fraunhofer ISE, ドイツ)
15:35-16:00	海運業界の脱炭素化 Dr. Vibha Dhawan (TERI, インド)	営農型発電の可能性と課題の概要 Ms. Anatoli Chatzipanagi (JRC, EU)	e-fuel と e-chemical の製造のための CCU 技術 Dr. Donghyun Chun (KIER, 韓国)
16:00-16:25	南アフリカの 2 つの港におけるゼロカーボン海上燃料の技術経済的実現可能性分析 Mr. Thomas Roos (CSIR, 南アフリカ)	次世代太陽電池セルの研究開発における日仏共同研究の今後 (※NEDO 事業) 久保 貴哉 (東京大学, 日本)	効果的な脱化石化のための材料 Prof. Dr. Juan Ramón Morante Lleonart (IREC, スペイン) (オンライン)
16:25-17:00	コーヒーブレイク		
17:00-18:00	TS1: ラップアップセッション (非公開) パネルディスカッション—国際共同研究の機会、RD20 の今後のアクション 提案予定のレコメンデーションとアクションの概要 リーダーと発表者	TS2: ラップアップセッション (非公開) パネルディスカッション—国際共同研究の機会、RD20 の今後のアクション 提案予定のレコメンデーションとアクションの概要 リーダーと発表者	TS3: ラップアップセッション (非公開) パネルディスカッション—国際共同研究の機会、RD20 の今後のアクション 提案予定のレコメンデーションとアクションの概要 リーダーと発表者

※NEDO クリーンエネルギー分野における革新的技術の国際共同研究開発事業セッションプログラムは9月29日現在 (プログラムの時間・内容は予告なく変更の可能性があります。)

今年度の参加予定国・地域



参加登録や最新情報は RD20公式ウェブサイトから: <https://rd20.aist.go.jp/ja/>

問い合わせ先: M-rd20secretariat-ml@aist.go.jp